

学校教育目標	夢と志をもち 果敢に挑戦し 自己実現する児童生徒の育成	経営理念	○小中一貫教育校として、学校、家庭、地域が相互に連携協力の理念に基づき、「協調」と「信頼」で結ばれる教育環境を実現し、児童生徒の“育ちと学び”を支援していく。 ～児童生徒に軸足を据えた教育活動の展開～
--------	-----------------------------	------	---

評価計画							自己評価					学校運営協議会による評価		改善方策
項目	重点	中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策	評価項目	目標値	達成値		達成度	評価	結果と課題の分析	評価	コメント	改善方策
							月	月						
確かな学力（学習活動）	1	・学びに向かう力を整え、育てたい資質能力“推論する力”の育成を図る。 《重点》 地域伝統文化再生プロジェクト(小) 《新規》 単元末試験の導入(中)	・小中一貫・接続教育を推進し、児童生徒が安心して学習できる教育環境を整える。	・理科、英語、音楽、保健体育の準教科担任制の導入と総合的な学習の時間でのTTを実施する。	・児童アンケート(授業満足度調査)を実施し、児童の満足度の割合を85%以上にする。	85%								
			・学びを支える力として、基礎的・基本的学力の定着を図る。	・授業や家庭学習の充実を図り、学力向上の取組を行う。	・家庭学習習慣の定着70%以上にする。 ・CRT(算数)、習熟度テストにおいて、学校設定スコアを超える割合を70%以上にする。	70%								
			・学力向上のためのICT活用の推進を図る。	・ICT機器の利点を生かした活用をする。										
			・eSTEAM教育を推進し、児童生徒の「推論する力」を育成する。	・総合的な学習の時間を中心に発達段階に応じて、系統的かつ計画的にeSTEAM教育を推進する。	・一人一本eSTEAM教育を取り入れた授業を実施する。	85%								
豊かな（生徒・生徒指導）な体	2	・自立・自律し、自他のことを大切にし、自己の健康と体力について理解し、高めていこうとする児童生徒を育成する。 《重点》 部活動の地域展開 * 東広島市教育委員会モデル事業 《新規》 小中合同スポーツ大会の実施	・児童生徒の自己有用感を高め、アイデンティティの確立を図る。	・児童会や生徒会活動をはじめ、部活動、クラブ活動、委員会活動等を通じて、児童生徒の主体性と自発性を育てる。	・児童生徒質問紙「集団(学校、学級、部活動、地域など)のために自分の力を使ったり、人と協力したりして取り組んだ」と答える児童生徒の割合を85%以上にする。	85%								
			・食や健康について考えるとともに、自己の体力の向上に主体的に取り組んでいく児童生徒を育成する。	・児童生徒自らが目標を立てて健やかな体づくりに取り組む。 *小中合同行事の設定など	・体育、学校行事、部活動を行う際に目標を設定し、「体力向上に取り組むことができた」と答える児童・生徒の割合を85%以上にする。	85%								
			・児童生徒が安全で安心できる教育環境を整える。 * 生城山(おおぎやま)ルーム開設(不登校児童生徒への対応)	・スクールカウンセラーや心のサポーター等と連携を図ったり、SSRを運営したりする。	・児童生徒質問紙「安心・安全に学校生活をおくることができている」と答える児童生徒の割合を85%以上にする。	85%								
信頼される学校	3	・地域とともにある学校として、信頼される学校づくりを推進する。	・コミュニティスクールの体制をもとに、地域連携を推進する。	・コミュニティルームを拠点とした地域人材との連携や活動を実施する。	・コミュニティスクール推進委員と地域学校協働活動推進委員との連携を毎月1回行う。	85%								
			・学校HPや学校だより等による情報発信を定期的に行う。	・学校の取組や児童生徒の躍動的・活動的な様子を広く発信する。	・学校だよりを毎月発行するとともに、学校HPも随時更新する。	85%								
働き方改革	4	・業務改善を推進、超過勤務時間の月平均45時間以内を目指す。	・働きやすい環境づくりを推進し、教職員の健康促進を図る。 ・働きがい・やりがい等の意識の醸成を図る。	・小中一貫校としての校務運営組織の見直しと精選を図る。 ・地域の協力体制ネットワークの構築を図る。	・学校衛生委員会において、入退校記録等に基づいた分析を毎月1回行う。	70%								

※目標の精選と重点化を行い、重点の項に「1」「2」「3」で表示する。

達成値/目標値を百分率で表示

■自己評価
4...目標を上回って達成 3...目標どおりに達成
2...目標をやや下回って達成 1...目標をかなり下回って達成

■学校関係者評価（学校運営協議会による評価）
A...とても適切である B...概ね適切である
C...あまり適切でない D...全く適切でない
(N...判定できない)